



ほんとかうそか？

きょうりゅう
恐竜

DINOSAURS

日本語訳 ● 田中薫子

*添付の日本語訳では、本書の内容の理解に役立つようにするために、英語からの直訳ではなく、言葉を補ったり、意識したりした部分があります。

P4 ▶見てごらん！ 窓の外に、恐竜がいるかも！ ほんとかうそか？

P6 ▶ほんと！

鳥の祖先は小型の肉食恐竜なんだ。だから、鳥は恐竜の生き残りだといっていい。

P9 ▶恐竜について研究する学者のことを、恐竜学者という。ほんとかうそか？

P11 ▶うそ！

正しくは、古生物学者という。古生物学者は恐竜のほか、マンモスのように、絶滅した（死にたえた）生きものの研究もする。

P12 ▶大昔の骨を化石という。ほんとかうそか？

P15 ▶ほんと！

ただし、骨以外の化石もある。大昔の生きものの足あとや、貝がら、葉っぱなどだ。うんちの化石だってある！

P16 ▶恐竜が絶滅したのは、恐竜たちの「おなら」が地球の温暖化を招いたから。ほんとかうそか？

P18▶うそ！

でも、だいぶ前には、そう信じた古生物学者もいたんだ。

P20▶昔の人は恐竜の化石をくだき、粉にしてのんでいた。ほんとかうそか？

P22▶ほんと！

中国の中部には、恐竜の骨を食べると病気がよくなる、と信じる人もいたらしい。

P25▶最初に見つかった恐竜を、学者たちは「大きなトカゲ」と名づけた。ほんとかうそか？

P26▶ほんと！

その恐竜の名前はメガロサウルスという。ラテン語で「大きなトカゲ」という意味だ。古生物学者たちは、それからどんどん、恐竜に名前をつけるのが上手になっていった。

P29▶オビラプトルは汚名おめいを着せられている。ほんとかうそか？

P30▶ほんと！

オビラプトルという名前は、ラテン語で「卵どろぼう」という意味だ。くちばしと、するどいかぎづめを持ったこの恐竜の骨は、見つかったとき、巣の上にのっかっていた。巣の卵を食べようとしていたときに死んだのだろう、と古生物学者たちは考えた。

P31▶ところが、のちになって、その卵がオビラプトル自身のもんすなわらしだったことがわかった。すさまじい砂嵐から巣を守ろうとしていた、子ども思いの親だったのだ。

P32▶恐竜は、陸も、海も、空も支配していた。ほんとかうそ

か？

P34▶うそ！（だいたい）

恐竜は陸のいたるところにいたけれど、海には全くいなかった。恐竜から進化した鳥よくりゅうはいた。でも、恐竜が生きていた時代に空を飛んでいた翼竜よくりゅうにくらべたら、ちっぽけなものだった。空が鳥たちの天下になったのは、翼竜が死にたえてからだ。

P36▶今のところもっとも完全に近い数の骨が見つかっていて、スーというあだ名がついている最大のティラノサウルスは、かなり長生きだった。ほんとかうそか？

P38▶ほんと！

学者たちが骨を調べたところ、スーは28歳ごろに死んだことがわかった。ティラノサウルスのような大型の肉食恐竜じゅうみょうの寿命は、長くて30年くらいだった。

P40▶もっとも短い名前の恐竜は1文字の記号で「§」だ。ほんとかうそか？

P41▶こんにちは § です

P42▶うそ！

もっとも短い名前の恐竜は、「イ・キ」という。鳥に近い小型の恐竜だ。「イ・キ」は中国語で「奇妙なつばさきまじ」を意味する。そんな名前がついたのは、つばさが鳥のように羽ではなく、コウモリみたいにまくにおおわれていたと思われるからだ。

P44▶最も長い名前の恐竜は「マイクロパキケファロサウルス・ホントウヤネンシス」。ほんとかうそか？

P45▶こんにちは ミクロパキケファロサウルス・ホントウヤ

ネンシス です

P47▶ほんと！

名前こそ長いけれど、この恐竜は体の長さが20インチ(50センチメートル)くらいしかなかったんだ！

P48▶ティラノサウルスはとても鼻がきいた。ほんとかうそか？

P51▶ほんと！

ティラノサウルスは、鼻だけでなく、目も耳もよかった。それらが役だち、すぐれたハンターになった。

P52▶ティラノサウルスとその仲間は、前足のかぎづめが2本ずつしかなく、それはほかのどの恐竜よりも少ない。ほんとかうそか？

P55▶うそ！

モノクスという小さな恐竜の前足にはそれぞれ、短いつめが1本あるだけだった。不便じゃなかったのかな？

P56▶アンキロサウルスはハンマーみたいなしっぽを、木をたおすのに使った。ほんとかうそか？

P58▶うそ！

ハンマーみたいなしっぽは、敵の足首の骨をくだくのに使ったんだ！ ティラノサウルスのような大きな肉食恐竜におそわれたとき、アンキロサウルスはしっぽをふりまわし、相手の脚にたたきつけた。ティラノサウルスは、脚や足首の骨が折れたからといって、医者にもてもらうことはできなかったから、歩けなくなり、やがて飢え死にしたことだろう。

P61▶テリジノサウルスは、前足のつめがもっとも長い恐竜だ

ったけれど、そのつめは、えものにつきたてるためのものだった。ほんとかうそか？

P62▶うそ！

つめはたしかに長くて、3フィート(1メートル)くらいあった。でも、あまりするどくなかった。たぶん、木から葉っぱをかきおとしたり、土の中の根や、シロアリの塚をほったりするのに使ったのだろう、と学者たちは考えている。

P64▶体にしま模様がある恐竜もいた。ほんとかうそか？

P66▶ほんと！

学者たちは顕微鏡を使って化石を細かく調べ、恐竜が生きていたころの体の色を見つけ出そうとしてきた。シノサウロプテリクスという恐竜は、赤っぽいだいたい色と白のしま模様が、しっぽについていたことがわかったんだ。

P68▶もっとも体が大きい肉食恐竜は、水の中で暮らしていた。ほんとかうそか？

P71▶ほんと！

スピノサウルスは体長が60フィート(18メートル)くらいになった。ボウリングのレーンとほぼ同じ長さだ！スピノサウルスは、ワニみたいに暮らしていたのではないかといわれている。魚や、水に近づきすぎた動物をつかまえて、食べていたようだよ。

P72▶古生物学者たちは、みんな仲よくやってきた。ほんとかうそか？

P74▶うそ！

古生物学者たちはさんざん張りあってきた。100年以上前には、オスニエル・マーシュとエドワード・コープという古生物学者たちが、きそって化石を^{はっくつ}発掘し、おたがいの発見にけちをつけた。それぞれがやとった人たちは、ライバルの化石をぬすんだり、発掘場所をあらしたりした。石を投げあったこともあったんだ！

P77▶史上最大だったかもしれない恐竜の化石は、ゆくえ不明になっている。ほんとかうそか？

P78▶ほんと！

100年以上前に、エドワード・コープの下で働いていた化石ハンターたちが、とてつもなく大きな恐竜の骨を見つけたそうだ。その生きものは、体長が190フィート（58メートル）あったとされている。大型バス5台分の長さだ！

P79▶さがしています。この恐竜を見ませんでしたか？

その骨がどうなったかは、だれにもわかっていない。もろかったので、博物館に運ぶとちゅうで粉々になってしまったのかもしれない。コープと化石ハンターたちによる、でっち上げだった、ってこともありえるよ！

P80▶もしも、大きな植物食恐竜が、家の庭にやってきたとしたら、しばふをぜんぶ食べられてしまうよ。ほんとかうそか？

P83▶うそ！（たぶん）

しばふの草みたいなのは、恐竜が生きていたころには、生えていなかったんだ。だから、たぶん、食べても消化できないだろうね。

P84▶恐竜の骨は世界中で見つっている。南極大陸でもだ！
ほんとかうそか？

P87▶ほんと！

南極大陸にも、大きな肉食恐竜のクリオロフォサウルスなど、さまざまな恐竜がいた。そのころは今ほど寒くはなかったんだ。それでも、冬には、動物も植物も、何週間、または何カ月も、太陽の光をあびることができなかった。

P88▶学者たちは、これからも新しい種類の恐竜がたくさん見つかるだろうと考えている。ほんとかうそか？

P90▶ほんと！

これまでにわかっていることをもとに、恐竜は（鳥類をのぞいて）2,000種類ほどはいたと考えられている。見つっているのは、だいたい700種類だけだ（日本語訳注：数については諸説あり）。

P91▶もしかしたら、いつかきみが新種を発見するかもね！

P92▶知ってる？

◎恐竜の英語の呼び名「ダイナソー」は、かなり昔の1842年に、イギリスの科学者サー・リチャード・オーウェンがつけたんだよ。

◎ティラノサウルスの歯は、ナイフというよりも、バナナみたいな形をしていたよ。

◎植物食の恐竜の中には、わざと石を食べるものもいた！石は、おなかの中で、食べものを細かくするのに役だった。

◎恐竜はだいたい、自分の子どもの世話をしていたよ。

- ◎恐竜が生きていた時代を、中生代ちゆうせいだいという。中生代は、三疊紀さんじょう・ジュラ紀じゅら・白亜紀はくあの3つの時期に分けられる。
- ◎ほとんどの恐竜は、食べものをまるのみにした。でも、カモミたいなくちばしがある恐竜の間は、歯がどっさりあって、食べものをしっかりかめたんだ。
- ◎小惑星しょうわくせいという宇宙の大きな岩が地球にぶつかったせいで、恐竜は絶滅した、と多くの学者たちは考えている。
- ◎トリケラトプスという恐竜とその仲間の、首のまわりにあるフリルは、大きな肉食恐竜から身を守るには、たよりないものだった。たぶん、かざりだったんじゃないかな。

*本書のP9の英文中の (dye nuh sore AH loh jihsts) のような表記は、直前の英単語の発音を補助する表記です。日本語訳にはふくみません。

*本書P2、P94～P95 (Index)、P96 (Acknowledgments) は、日本語訳にはふくみません。

*添付の日本語訳で、(日本語訳注：) の部分は、内容の補足事項です。

くもん出版

〒108-8617 東京都港区高輪4-10-18 京急第1ビル13F 電話03-6836-0301 (代表)
ホームページアドレス <https://www.kumonshuppan.com/>